令和8年度全国学力・学習状況調査

# 調査結果の概要及び分析と改善策について

丹波市立氷上中学校

## 【結果概要・分析にあたって】

過日、本年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校は、国語・数学・英語ともに全国と同程度でしたが、国語においては正答率が全国を上回る問題が、数学・英語においては下回る問題がそれぞれ複数ありました。また、生徒質問紙調査からは、日頃の教育活動を通じて学びを自己調整する力が高まっている半面、学習習慣の定着には課題のあることが伺えました。

しかし、本調査で測ることができるのは学力等の一部でしかありません。したがって、正答率等の数値のみにとらわれるのではなく、生徒の学力の傾向を適切にとらえることに注力し、生徒の苦手な部分を補い、得意な部分をさらに伸ばす教育活動を充実できるように、この調査結果を活用したいと考えています。

## 【調査概要】

＜実 施 日＞　令和８年４月２３日（木）・３０日（木）
＜実施教科＞　国語、数学、英語（英語はCBT※で実施）
＜対象学年＞　第３学年

※CBTとはコンピュータを使って試験を実施する方式のことです。R9 調査では調査教科すべてがCBT で実施予定です。



## 【質問紙調査から】

＜挑戦心・自己有用感・居場所づくり＞

| 質問事項 | 肯定的回答 | 全国との差 |
|---|---|---|
| 将来の夢や目標を持っていますか | 55.3% | −12.3ｐ |
| 学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか | 60.2% | −7.3ｐ |
| 学校に行くのは楽しいと思いますか | 88.9% | +3.5ｐ |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか | 95.8% | −0.1ｐ |

◆多くの生徒が「学校に行くのが楽しい」「人の役に立ちたい」と感じています。反面、教室の中に居づらさを感じている生徒もあります。さまざまな教育活動を通じて、挑戦心の向上、安心な居場所づくりに取り組みます。

＜学習習慣＞

| 質問事項 | １時間以上<br>２時間以上 | 全国との差 |
|---|---|---|
| 授業以外に平日にどのくらい勉強していますか | 34.3%<br>11.2% | −27.3ｐ<br>−18.9ｐ |
| 休日にどのくらい勉強していますか | 16.1%<br>2.8% | −13.8ｐ<br>−10.3ｐ |

◆平日・休日ともに学校外での学習時間が全国を下回っています。学習内容の定着を図り、自己実現を図るためにも、学習習慣の定着は喫緊の課題です。HAL を生かして学ぶ術を身につけ、意欲的に学習に取り組む態度を育みます。

＜学習を自己調整する姿勢＞

| 質問事項 | 肯定的回答 | 全国との差 |
|---|---|---|
| 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか | 94.6% | +6.4ｐ |
| 授業で学んだことをほかの学習や実生活で生かしていますか | 74.8% | −3.2ｐ |

◆分からないことがあっても、自分なりに工夫して学びをすすめようとしています。その姿勢を生かし、学んだ内容を実生活に役立て、より深い学びに発展させたいと考えます。

＜学習課題に取り組む態度＞

| 質問事項 | 肯定的回答 | 全国との差 |
|---|---|---|
| 今回の調査問題には解答を文章で書く問題（国）、言葉や式で説明する問題（数）がありましたが、最後まで解答しようとしましたか。 | 国 80.3%<br>数 57.6% | +7.9ｐ<br>0ｐ |

◆国、数で差はあるものの、粘り強く学習課題に取り組む姿が見られます。この力を様々な活動に生かしたいです。

## 【各教科の結果から】

※本文中の「ｐ」：本校 76.2% 全国 72.5% のとき 差は「+3.7ｐ」と表記
※国研：国立教育政策研究所　URL: https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html

### ＜国語＞　※問題文、解答は国研 HP（上記）を参照

（問題４三）　全国との差：＋11.2ｐ
問題の概要：文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する
正答：３（口調や顔つきなど話し方の様々な要素をまとめて表す）

すべての問題の中で全国平均正答率（以降：全国）を最も上回っています。目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる問題です。題意を正確に捉え、４つの選択肢から適切に選ぶことができています

（問題４二）　全国との差：−9.3ｐ
問題の概要：国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す
正答の条件：「ありありと映し出している」「心に思い描く」「包括的に含んだイメージを得る」のいずれかのように解答している

すべての問題の中で正答率は最も低く、全国を9.3ｐ下回っており、無解答率も高くなっています。語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味をとらえることに課題があると考えられます。また短答式の問題への対応も課題です。

### ＜数学＞　※問題文、解答は国研 HP（上記）を参照

（問題２）　全国との差：＋1.8ｐ
問題：次の式で、７$x$の同類項をすべて答える
$7x+9-5x+7x^2+2x$
正答：$-5x$と$2x$
（または$7x$と$-5x$と$2x$）

同類項の意味を理解しているかどうかをみる問題ですが、「$5x$と$2x$」のような誤答も一定数あります。同類項の理解については、文字式の計算はもとより、文字を使って数に関する性質を説明したり、方程式を解いたりする際に必要であり、さらなる定着を図ることが求められます。

（問題９(3)）　全国との差：−1.4ｐ
問題：「就寝時刻が２３時より前の生徒と比べて、２３時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、２つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する
正答の条件：度数分布多角形の形と位置の２つの要素について記述する

データの傾向を的確にとらえ、度数分布多角形の特徴をもとに説明する問題です。すべての問題の中で最も正答率が低く、無解答率（27.0%）も高くなっています。数学的な表現を用いて説明する活動を充実させることが求められています。

### ＜英語＞　※問題文、解答は国研 HP（上記）を参照

（問題３）　全国との差：＋0.1ｐ
問題の概要：学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する
正答：４（music room）

日常的な話題について自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題です。すべての問題の中で正答率は最も高く、無解答率は０%です。
複数の情報が含まれる内容から、話されることすべてではなく、聞き手として目的に応じてほしい情報を聞き取る力が求められています。

（問題 14）　全国との差：−15.9ｐ
問題の概要：学校で普段行うことを１つ取り上げ、それについての説明を書く
正答の条件：①15 語以上 30 語以内の英語
②学校で普段行うことを取り上げている
③条件②についての説明を書いている

日常的な話題について簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章をかくことできるかどうかをみる問題です。すべての問題の中で最も正答率が低く、無解答率は高くなっています。全体として一貫性のあることと、読み手に伝わるように最もふさわしい表現で書き表すことも必要となります。

## 【今後の取組（指導改善のポイント等）】

＜各教科及び教育活動全般を通して＞



◆国語・数学・英語の成果や課題をすべての教職員で共有し、授業参観ウィーク等の取組を活用しながら、すべての教科の授業改善を図ります。特に小テストや単元テスト等を活用して基礎基本の定着を図るとともに、教科の特性を踏まえた授業づくりに取り組みます。
◆例年課題となっている「書くこと」については、すべての教科で「自分の考えを整理する」「根拠を明確にする」「目的や状況に応じて適切な表現を用いる」等を踏まえた授業づくりに努めます。
◆学校行事や日常の学校生活の中で、生徒が主体的に活動する場面を意図的に設定し、自己肯定感、自己有用感を高めるとともに、目標に向かって協働して取り組もうとする風土の醸成に努めます。